

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きや所管国の状況等を短くまとめて紹介します



パリ事務所

エクサンプロヴァンス市に熊本市協力による日本庭園がオープン

7月7日、南仏のエクサンプロヴァンス市において、交流都市である熊本市の協力により完成した日本庭園の落成式が行われました。

庭園は、約30年前に熊本市在住の能楽師、狩野琇鵬（丹秀）氏が寄贈・移築した総檜の能舞台を取り囲みながら、両市のパートナーシップを象徴するものとして、中心市街地近くのサンミットル公園内に整備されました。整備にあたっては、熊本市および熊本市造園建設業協会並びにエクサンプロヴァンス市緑地局が連携し、地中海性の気候や植生をベースにしつつ、日本庭園ならではの庭池や灯籠を配置するとともに、園内の所々に桜、銀杏、楓や黒松が植えられるなど、訪れた人々が日本の四季やエスプリを存分に感じられる空間となっています。

落成式では、ソフィー・ジョワサン プロヴァンス・アルプ・コートダジュール州議会副議長（文化・財産担当）および村田優久夫在マルセイユ総領事をはじめとする関係者が来賓として出席され、また、式典ではカリマ・ゼルカニ＝レナル エクサンプロヴァンス副市長より大西一史熊本市長から届けられた親書が読み上げられました。

エクサンプロヴァンス市では、2022年10月3日（月）～6日（木）に第7回日仏自治体交流会議の開催を予定しています。ぜひ、会議への参加を検討ください。

会議の詳細はこちら：

<http://www.clair.or.jp/j/exchange/chiki/nichi-futsu.html>



エクサンプロヴァンス市日本庭園



能舞台上で熊本市長の親書を朗読するエクサンプロヴァンス市副市長



ソウル事務所

韓国最大規模の「2021 ソウル国際観光博覧会」へ出展

6月24日から27日までの4日間、クレアソウル事務所は、ソウル江南区の複合施設で開催された「2021 ソウル国際観光博覧会」に出展しました。

この博覧会は、BtoB、BtoC両面でのプロモーションが実施可能で、例年、多くの国の企業や自治体などから出展があるなど、来場者にとっても満足度の高い博覧会になっています。

クレアソウル事務所では、日本の各地域のPRを行うと同時に、お酒や特産品などが当たる抽選イベントを行い、来場者に楽しんでいただきました。来場者からは、日本の各地の観光地やグルメについて質問があるなど、日本への関心の高さがうかがえました。

今回は42か国から参加があり、そのうち360団体のブース出展があった中、クレアソウル事務所は、工夫を凝らしたイベント企画を行ったと評価を受け、ベストブースイベント賞を受賞しました。

新型コロナウイルスの影響により、実際に日本を訪れることが難しい中でのPR活動でしたが、来場者から「新型コロナウイルスが落ち着いたら、日本に遊びに行きたい」、「今回のイベントで知った地域に行ってみたい」といった声が聞けるなど、今後の日本旅行への期待感を実感することができました。

クレアソウル事務所では、引き続き韓国で開催されるイベントなどに出席し、日本の各地域の魅力について発信してまいります。



クレアソウル事務所ブース



抽選イベントも好評



ロンドン事務所

LGA（英国自治体協議会）の年次総会に参加しました！

ロンドン事務所では、職員研修の一環として、LGA（Local Government Association）が主催する年次総会に参加しました。LGAは、国・地域が抱える課題に対して、英国内の地方自治体がローカルな視点から解決策を共有することを目的に設立され、現在では、イングランド内333の自治体のうち、328の自治体が加盟しています。年次総会では、そのネットワークの広さを生かし、各地方自治体の取組事例紹介、意見交換などを行っています。

今年の年次総会は、7月6日から8日にかけてオンラインで開催され、新型コロナウイルス終息後の経済回復、格差是正に向けた取り組み、気候変動対策など、多岐に渡るテーマが取り上げられました。中央政府・地方自治体関係者や大学教授などの専門家、地域コミュニティ団体など、幅広い立場からの参加があり、地域の課題や解決策、新型コロナウイルス終息後の展望などについて意見が交わされました。

最終日には、新型コロナウイルス対策を担うサジド・ジャヴィド保健・社会介護大臣を迎え、持続可能な社会福祉サービスの提供に向け、中央政府と地方自治体間の連携を一層強化することの重要性が語られ、3日間にわたる会議を締めくくりました。



2021年のLGA総会はオンライン開催に



サジド・ジャヴィド保健・社会介護大臣による講演



北京事務所

湖南省長沙市で第3回長沙ジャパンプランドが開催されました

6月4日から5日まで、湖南省長沙市の平和堂にて「第3回長沙ジャパンプランド」が開催され、6つの自治体が観光PRを行ったほか、文具やビール会社、ホテル事業者など合計18団体が出展しました。クレア北京事務所の職員も参加し、滋賀県のPR活動の支援を行いました。イベントステージでは、阿波踊りをはじめ、三味線演奏、酒の紹介、滋賀県による抽選大会などが催され、大変な盛り上がりを見せました。また、地下の食品コーナーで開催されたマグロの解体ショーも来場者の注目を集め、新鮮なマグロを味わおうと長蛇の列ができ、大盛況でした。

各ブースでは、パンフレットやノベルティグッズの配布のほか、酒の販売、日本文化の体験（けん玉遊び、浴衣の試着）が行われ、来場者の関心を集めました。来場者からは「早く日本に行きたい。」といった声が聞かれ、訪日への関心の高さがうかがえました。

クレア北京事務所では、今後も自治体の観光PRを実施・支援するなど、自治体の中国での活動を幅広く支援してまいります。



自治体の地酒販売ブースの様子



滋賀県ブースでの浴衣の試着体験の様子



シンガポール事務所

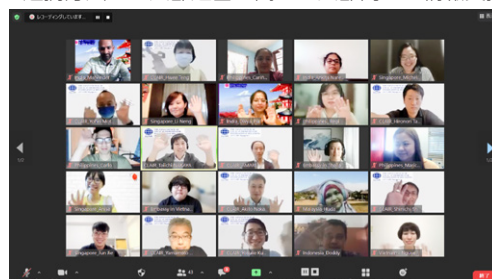
シンガポール事務所所管国のJETAA連携会議をオンラインで開催

2021年7月3日、当事務所所管国のJETAA支部間の情報交換・意見交換などを目的として、「JETAA Networking Session for Southeast Asia and India」をオンラインで開催しました。昨年度に続く2回目の開催となった今回は、インド、インドネシア、フィリピン、シンガポールの4支部に加え、支部が未開設のマレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナムのJETプログラム参加者・経験者を含む総勢44名が参加しました。

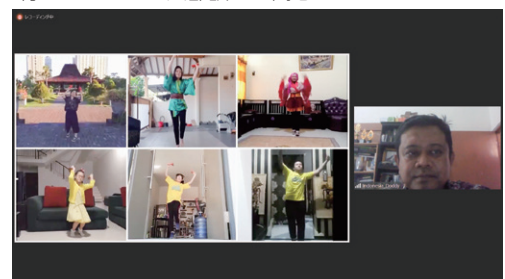
各支部からは、これまでの活動実績や今年度の活動計画の紹介に加え、支部の活動にメンバーを巻き込む工夫や支部運営に役立つツールなど、支部への事前アンケートを基に設定したテーマに関する発表がありました。

発表後には、現地日系機関との連携方法など支部運営に関して支部同士の情報交換が行われたほか、支部設立に関心をもったマレーシアの参加者から質問が寄せられ、質疑に答えたインド支部との今後の連携が確認されるなど、所管国全体の今後のJETの活動にとって大変有意義な会議になりました。

当事務所としては、日本と各国の懸け橋であるJETAAの活動を今後も支援したいと思います。



会議参加者（一部）の記念撮影



活動の一環として作成した動画を紹介する
JETAAインドネシア支部会長



シドニー事務所

JETAA ニューサウスウェールズ支部が外務大臣表彰を受賞

2021年4月30日、在シドニー日本国総領事公邸において、2020年度外務大臣表彰を受賞したJETAA（元JET参加者の会）ニューサウスウェールズ支部に対して、紀谷総領事から表彰状が授与されました。

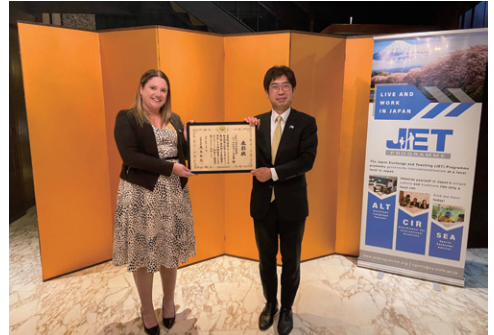
JETAA ニューサウスウェールズ支部は、設立後30年以上にわたり、日本語や日本文化の振興、JETプログラム運営に対するサポート、当地の日本人コミュニティとの緊密な連携などにより、日豪の相互理解および友好親善の促進に貢献してきたことが高く評価され、今回の受賞に至りました。

クレアシドニー事務所におきましては、近年、オセアニア地域のJETAA支部の代表らが一堂に会するJETAA オセアニア会議のシドニーでの開催や、シドニー都市圏で開催される行事へのクレアシドニー事務所の出展などに際し、JETAA ニューサウスウェールズ支部と連携してきており、今回の受賞をとっても喜ばしく思っています。

クレアシドニー事務所は、引き続き、JETAA ニューサウスウェールズ支部を含めたJETAA支部との連携強化に取り組んでいきます。



JETAA ニューサウスウェールズ支部代表メンバーと紀谷総領事



総領事公邸にて紀谷総領事より表彰状が手渡された



ニューヨーク事務所

ニューヨークにおける配達の新しい形

映画やドラマなどでニューヨークのラッシュアワーの様子を見たことがある人もいると思いますが、ニューヨークでは長年にわたり車の渋滞やそれによる騒音、排気ガスの増加や利便性の悪さが問題となっており、近年では、eコマースが普及したことによる個人宅への配達が増えたことで、状況がさらに悪化しています。

そこで、ニューヨーク市は、配達事業者に対して「貨物用電動自転車」の活用を推進しています。貨物用電動自転車は、排気ガスも発生せず、トラックと比較して駐車に伴うスペースも少ないため二重駐車（駐車スペースとして認められている路肩に停められず道路上に駐車すること）が発生しにくく、渋滞の解消につながると期待されています。そのようなメリットもある一方で、貨物用電動自転車を普及させるには、安全性や駐車に係るルールの制定など、解決すべき課題が複数存在します。詳しくはクレアニューヨーク事務所のブログで紹介しています。
<https://www.jlgc.org/ja/07-14-2021/10103/>



UPS が使用している貨物用電動自転車



多文化共生課

2021年度 災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練を実施します！

災害時に外国人支援に従事する関係者のスキルアップや関係者同士の顔の見える関係・ネットワークの構築を目的に、研修および訓練を実施します。今年度は、都道府県・政令指定都市職員、地域国際化協会職員、災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修（総務省主催）受講者などを対象に、①研修動画によるオンデマンド研修、②オンライン研修、③現地訓練を実施します。

- ① オンデマンド研修：新規担当者・事業経験者向けの2種の動画を用意し、受講者の知識・経験に応じて視聴していただけます。動画の内容は、(特非)多文化共生マネージャー全国協議会の土井代表理事による講義と地域の先進事例についてです。
- ② オンライン研修：過去の大規模災害において被災した外国人への対応を行った国際交流協会などの事例を学び、災害への対応や訓練に向けて具体的なイメージを掴んでいただけます。
- ③ 現地訓練：地域国際化協会連絡協議会のブロックと協力し、「災害多言語支援センターの設置・運営」などについて、ブロックのニーズに応じた訓練を実施します。

研修・訓練終了後にはクレアホームページに開催概要を公表予定ですのでご覧ください。



東海・北陸ブロックにおける訓練の様子(2020年度)

JET プログラム事業部

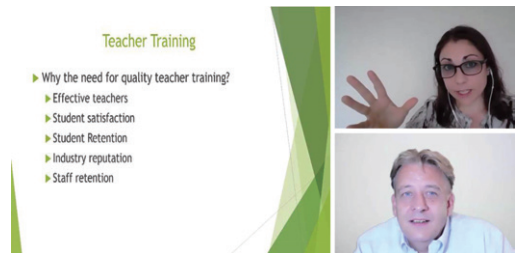
ALT 向けのハイレベル研修が始まりました！！

JET プログラム事業部では、来日 2 年目以降の ALT（外国語指導助手）および ALT と共に英語授業を行う外国語担当教員（計約 240 名）を対象に、「ALT ハイレベル研修」を実施しています。その開講にあたり、オリエンテーションが 7 月 14 日および 15 日に行われました。

この研修は、現場における実践的な知識や英語教授技術などの習得をめざし、小学校・中学校・高等学校と、日頃勤務する学校別のコースに分かれて、8 月（2 日間）と 12 月（1 日間）に合計 3 日間（全てオンライン）をかけて、全て英語で行います。

小学校コースでは「独創性を高める方法」や「ゲームを使用する際の考慮点」、中学校コースでは「生徒主体の学習、指示の提供方法」や「生徒数の多いクラスの教え方」、高等学校コースでは「やる気を引き出す評価方法」や「能力の差があるクラスの指導方法」など、専門的な内容です。

また、研修成果を実践に活かせるように、受講者は研修で学習した英語教授法を踏まえた授業計画（案）の作成に取り組みます。



オリエンテーション（オンライン形式）の様子
※一部画像を編集しています

経済交流課

プロモーションアドバイザー事業 オンライン派遣を実施しました！

クレアでは、自治体の海外プロモーションを支援するため、専門的知見、ノウハウ、経験をもつ専門家（プロモーションアドバイザー）を派遣し、相談対応や専門的な助言・情報提供などを行うプロモーションアドバイザー事業を実施しています。現在、登録アドバイザー数は 32 名（社）となっています。

ここでは、2021 年度の派遣実績についてご紹介します。

① 北海道（オンライン派遣）

北海道国際経済課では今年度、オンラインによる国際取引や EC の導入などデジタル技術を活用した道内企業の海外展開を促進するため、研修会およびビジネスマッチングを開催することとしており、プロモーションアドバイザーの日本食文化振興協会（JFCA）二見氏を派遣し、事業計画への助言およびアメリカ市場の現状について道内企業向けにご説明をいただきました。

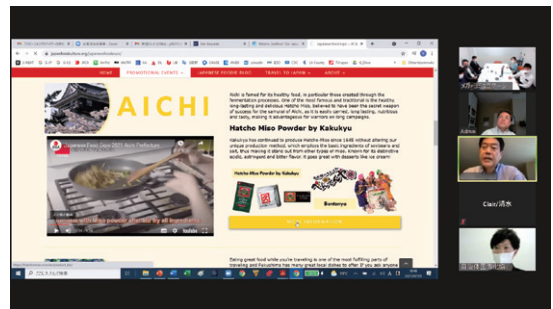
② 長崎県（オンライン派遣）

長崎県広報課では今年度、長崎県公式ウェブサイトの更新を計画しています。更新に伴い多言語ページのデザインやスマートフォンページのデザインについて、プロモーションアドバイザーの楽天グループ株式会社 大倉氏を派遣し、見やすさと情報の探しやすさの観点からご意見をいただきました。

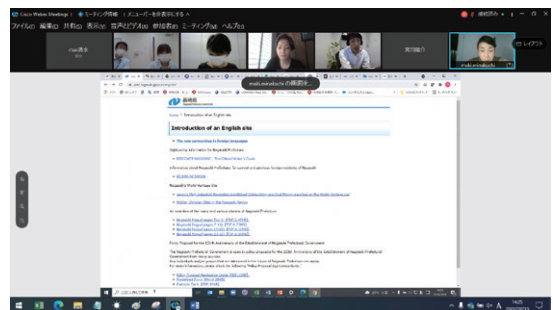
プロモーションアドバイザー派遣の申請は随時募集しています。事業の詳細、活用事例、プロモーションアドバイザー一覧については、HP をご覧ください。http://economy.clair.or.jp/activity/dispatch/

【お問い合わせ】

経済交流課 Tel : 03-5213-1726 Mail : keishin@clair.or.jp



プロモーションアドバイザーからの説明の様子（北海道）



ホームページの多言語化についてアドバイスをもらう様子（長崎県）

市民国際プラザ

「多文化共生支援団体リスト」が市民国際プラザのウェブサイトに移行しました！

これまでクレアのウェブサイトに掲載していた「多文化共生支援団体リスト」を、市民国際プラザのウェブサイトに移行しました。

このページでは、各地域においてさまざまな分野で多文化共生社会推進のために活動する地域の国際交流協会、NPO 等民間団体、ボランティア団体についての基本情報、活動内容や活動場所を地域別に掲載しています。

「近隣でこんな活動をしている団体はないだろうか」と調べたい時、また同じ分野で活動する団体とネットワークを広げて災害発生時の支援体制を強化したいという時、共同で事業を実施できる団体を探す時、他団体の活動知って自分達の活動に活かしたいといった場合などに活用いただき、地域の多文化共生の取り組みの向上にお役立てください。

市民国際プラザではここに掲載されている団体への取材も進めており、今後インタビュー記事を掲載するなど情報を充実させていく予定です。

■多文化共生 支援団体リスト

http://www.plaza-clair.jp/interview/list.html

多文化共生支援団体リストに掲載を希望される場合は、市民国際プラザまでお問い合わせ下さい。



多文化共生 支援団体リスト